

令和 2 年度 横浜スキー協会評議員会における書面決議において各評議員会から頂戴したご質問ならびにご意見に対し、横浜スキー協会の回答を以下のとおりお知らせいたします。なお、ご質問ならびにご意見は 2021 年 9 月 23 日時点に到着したものを反映しています。

受領方法	ご質問・ご意見	回答
メール	<p>指導者育成プログラム事業を廃止した理由は何でしょうか。</p> <p>クラブでは有資格者に教える機会を設け、クラブ行事を行っています。</p> <p>当クラブの有資格者はサラリーマンスキーヤーがほとんどで、試行錯誤で生徒にスキーを教えますが、生徒に上達に向けた適切なアドバイスが出来ているかが少々不安を持っている有資格者は多いと思っています。</p> <p>当クラブからも本プログラムに参加した会員がおり、非常に有意義であると聞いておりました。次年度以降、復帰を強く望みます。</p> <p>また、検定プログラムも事業縮小化に動いているのが気になります。ブロック員のいないクラブにとって、非常に助かっておりました。また、受検者にも非常に好評でした。これについても廃止とにならないよう、今まで同様の事業をお願いしたいです。</p>	<p>1. 事業規模ならびに予算規模の肥大化の観点 当該事業は、その事業規模および予算規模が拡大傾向にありました。その中で、指導者の育成は、本来は各クラブの重要な役割であること、さらには、全てのクラブの皆様に対して公平・公正なリソース配分ができているか、協会全体の事業ならびに予算のバランスを考えて計画を見直すことになりました。</p> <p>2. 内部統制ならびにコンプライアンスの視点 当該事業の担当役員が限られていました。そこで、特定役員に過度な負担をかけることは内部統制の観点から不適切であること。さらに前項より、特定の役員に対して協会からの支出が著しく増加することは、コンプライアンスの視点において不適切ではないかとの意見があり計画を見直すことになりました。</p> <p>指導者育成における指導者の定義は、教育事業のみならず競技事業にも該当するものと理解しています。</p> <p>今後、横浜という大きなバックボーンを持つ横浜スキー協会は、横浜市にゆかりのある皆様に対し、スキー全体（教育、競技）の事業を視野に入れた、新たな指導者育成事業を皆様とともに作り上げていきたいと考えております。</p>
メール	<p>指導者育成プログラムの事業は廃止、指導者検定受検サポートプログラムも行事が縮小になっていますが理由を教えてくださいませんか？クラブ内に、この行事を楽しみにしていたメンバーがいてとても残念そうな様子です。</p> <p>クラブ内で同様の行事を実施するように検討は進めますが、今後、協会主催にて別な形で実施さ</p>	<p>理事会ならびに四役部長会において慎重に議論した結果、以下の二点の観点により指導者育成プログラム事業の廃止ならびに指導者検定受検サポートプログラム事業を縮小する判断に至りました。</p> <p>1. 事業規模ならびに予算規模の肥大化の観点</p>

	<p>れたりする予定はありますか？</p>	<p>指導者育成事業ならびに指導者検定受検サポートプログラム事業は、その事業規模および予算規模が拡大傾向にありました。その中で、指導者育成は、本来各クラブの重要な役割であること、さらには指導者受検のサポートは、神奈川県スキー連盟の役割であるとの議論がありました。</p> <p>よって、全てのクラブの皆様に対して公平・公正なりソース配分ができていないか、協会全体の事業ならびに予算のバランスを考えて計画を見直すことになりました。</p> <p>2. 内部統制ならびにコンプライアンスの視点 当該二つの事業の担当役員が限られていました。そこで、特定役員に過度な負担をかけることは内部統制の観点から不適切であること。さらに前項より、特定の役員に対して協会からの支出が著しく増加することは、コンプライアンスの視点において不適切ではないかとの意見があり計画を見直すことになりました。</p> <p>指導者育成における指導者の定義は、教育事業のみならず競技事業にも該当するものと理解しています。</p> <p>今後、横浜市という大きなバックボーンを持つ横浜スキー協会は、横浜市にゆかりのある皆様に対し、スキー全体（教育、競技）の事業を視野に入れた、新たな指導者育成事業を皆様とともに作り上げていきたいと考えております。</p>
<p>書面（採決票）</p>	<p>検定受検サポートプログラムがなくなったのは残念。次年度以降再考いただきたいと考えている。</p>	<p>検定受検サポートプログラム、つまり指導者検定受検サポートプログラム事業について回答いたします。</p> <p>理事会ならびに四役部長会において慎重に議論した結果、以下の二点の観点により指導者検定受検サポートプログラム事業を縮小する判断に至りました。なくなったのではなく、事業の縮小となりますのでご理解のほど、よろしく願いいたします。</p> <p>1. 事業規模ならびに予算規模の肥大化の観点</p>

		<p>指導者関連の事業、つまり、指導者育成事業ならびに指導者検定受検サポートプログラム事業は、その事業規模および予算規模が拡大傾向にありました。その中で、指導者育成は、本来各クラブの重要な役割であること、さらに指導者検定の受検サポートは、神奈川県スキー連盟の役割であるとの議論がありました。</p> <p>そこで、全てのクラブの皆様に対して公平・公正なりソース配分ができていないか、協会全体の事業ならびに予算のバランスを考えて計画を見直すことになりました。</p> <p>2. 内部統制ならびにコンプライアンスの視点 当該二つの事業の担当役員が限られていました。そこで、特定役員に過度な負担をかけることは内部統制の観点から不適切であること。さらに前項より、特定の役員に対して協会からの支出が著しく増加することは、コンプライアンスの視点において不適切ではないかとの意見があり計画を見直すことになりました。</p> <p>指導者育成における指導者の定義は、教育事業のみならず競技事業にも該当するものと理解しています。今後、横浜市という大きなバックボーンを持つ横浜スキー協会は、横浜市にゆかりのある皆様に対し、スキー全体（教育、競技）の事業を視野に入れた、新たな指導者育成事業を皆様とともに作り上げていきたいと考えております。</p>
書面（採決票）	<p>収支構造の改善について</p> <p>教育の収益 競技の赤字を穴埋めしている問題意識と今後について協会の考えを聞きたい。コロナ禍での暫定対応かもしれないが、上記状況で指導員育成プログラムの廃止、基礎系クラブの中には受検フォローもできないクラブもあり、受け皿であったはず。基礎系クラブにとって協会加盟の意義が極論なくなってしまう。</p>	<p>1.収支構造の改善について</p> <p>スキー競技の人口減少により、教育事業の収益が競技事業の赤字の穴埋めをしているのは事実です。</p> <p>少しでも競技事業の収支回復のための施策として、今年度の横浜市民の会場変更をおこなうとともに参加費の値上げも実施しています。</p> <p>また、全事業が黒字ないしは収支均衡になることが理想と考えますが、スキーを取り巻く環境下、各事業において収支のバラツキがでることは避</p>

		<p>けられないものと考えます。そこで、各行事を事業ポートフォリオとして編成し、協会全体での収支バランスを取っていくことが肝要かと考えます。</p> <p>2.指導員育成プログラムの廃止について</p> <p>理事会ならびに四役部長会において慎重に議論した結果、以下の二点の観点により指指導員育成プログラムを廃止する判断に至りました。</p> <p>① 事業規模ならびに予算規模の肥大化の観点</p> <p>指導者関連の事業、つまり、指導者育成事業ならびに指導者検定受検サポートプログラム事業は、その事業規模および予算規模が拡大傾向にありました。その中で、指導者育成は、本来各クラブの重要な役割であること、さらに指導者検定の受検サポートは、神奈川県スキー連盟の役割であるとの議論がありました。</p> <p>そこで、全てのクラブの皆様に対して公平・公正なりソース配分ができているか、協会全体の事業ならびに予算のバランスを考えて計画を見直すことになりました。</p> <p>② 内部統制ならびにコンプライアンスの視点</p> <p>当該二つの事業の担当役員が限られていました。そこで、特定役員に過度な負担をかけることは内部統制の観点から不適切であること。さらに前項より、特定の役員に対して協会からの支出が著しく増加することは、コンプライアンスの観点において不適切ではないかとの意見があり計画を見直すことになりました。</p> <p>指導者育成における指導者の定義は、教育事業のみならず競技事業にも該当するものと理解しています。今後、横浜市という大きなバックボーンを持つ横浜スキー協会は、横浜市にゆかりのある皆様に対し、スキー全体（教育、競技）の事業を</p>
--	--	--

		視野に入れた、新たな指導者育成事業を皆様とともに作り上げていきたいと考えております。
--	--	--

以上